



そして国立競技場は再び2015年に取り壊され現在の形になりました。



江ノ島ヨットハーバー(建設当時)



旧国立競技場



首都高速道路・赤坂付近(建設当時)



ホテルオークラ

競技に関係する施設は、国立競技場にとどまらず、日本武道館、国立代々木競技場、渋谷公会堂、駒沢オリンピック公園、馬事公苑、江ノ島ヨットハーバーなどが建設されました。 ホテルオークラなどのグローバルスタンダードに準じたホテルが次々と建設され街並も大きく変化しました。

交通網では、新幹線、首都高速道路、都心環状線や放射4号線、東京モノレール、そして現在のNHK放送センターもこの時に完成しています。

私の持論ですが、2回目の東京オリンピックの誘致に反対派でした。何故ならば、日本の成長を世界が支えてくれたように、日本は世界の裕福な国々と協力して、成長を目指しつつも自國の努力だけでは立ち行かない国々を応援し支える側になつて欲しかったからです。さらに世界にはまだまだ様々なスポーツや競技種目があります。サッカーのように単体で巨大な大会を主催できる競技をわざわざ五輪に持ち込むのではなく、自力で国際大会を開催するのが困難な競技を世界中から集めたらどれほど興味深い大会になるでしょう。これから成長すべき国々で開催することにより、インフラ整備と経済の活性化、そしてその国の文化やスポーツをグローバル化することができ、世界という地域作りに大きく貢献できることでしょう。

しかし現実は、裕福な者がさらに富を築く仕組みであり、「オモテナシ」という名ゼリフの誕生とともに東京開催は決まります。

思い返せば、最初のロゴマーク盗作問題から始まり、多くのスキヤンダルを生み出した東京大会ですが、やるからは世界に誇れる大会を実現して欲しいと願っています。

昨年もしも予定通り平常な世界状況の中で開催されていたのならば、いつたいどのような大会になつたのでしょうか。

しかしCOVID-19の感染拡大は、世界を一変させ東京大会を延期に追い込み、今年の初めから、オリパラの開催意義、何故開催する必要があるのか。スポーツと人命どちらが大切なのか。来日したアスリートと日本国民どちらが優先して治療を受けられるのかと

いうような発言が連日報道されました。

私の持論ですが、2回目の東京オリンピックの誘致に反対派でした。何故ならば、日本の成長を世界が支えてくれたように、日本は世界の裕福な国々と協力して、成長を目指しつつも自國の努力だけでは立ち行かない国々を応援し支える側になつて欲しかったからです。さらに世界にはまだまだ様々なスポーツや競技種目があります。サッカーのように単体で巨大な大会を主催できる競技をわざわざ五輪に持ち込むのではなく、自力で国際大会を開催するのが困難な競技を世界中から集めたらどれほど興味深い大会になるでしょう。これから成長すべき国々で開催することにより、インフラ整備と経済の活性化、そしてその国の文化やスポーツをグローバル化することができ、世界という地域作りに大きく貢献できることでしょう。

しかし現実は、裕福な者がさらに富を築く仕組みであり、「オモテナシ」という名ゼリフの誕生とともに東京開催は決まります。

思い返せば、最初のロゴマーク盗作問題から始まり、多くのスキヤンダルを生み出した東京大会ですが、やるからは世界に誇れる大会を実現して欲しいと願っています。



このような状況の中で開催される東京大会はある意味、新しい大会様式を世界に示す、オリパラのあり方を見直し、存在意義を明確に打ち出せるこれ以上に無い機会かもしれません。

間もなく開幕する仕切り直しとなつた東京大会をJOCはどのように演出してくれるのかとても楽しみです。
私はこの原稿をメジャーリーグ・オールスター戦に出場した大谷翔平選手を見ながら書かせては要られません。

彼の活躍を見て私は心が躍ります。東京大会に登場するアスリートたちにもやはり期待せずにいます。

齊藤敬



体育館裏の草ぼうぼうのフェンス下、石垣になってとっても綺麗になりました。ぜひ見てください。



以前はこんな感じで草ぼうぼう
それがこんなにきれいになりました



製作してくださったのは、
すぎなみ景観ある区マップでも
紹介されている、クラブハウスの
万葉植物園を管理してくださっているKSCC山桑の会、
望月弘之さんと竹下政己さんです。
手作りとは思えない完成度です。

